

秋元産機株式会社

WS-01

ハンド式ポリチューブシーラー

取扱説明書





安全上のご注意 —安全にお使いいただくため—


安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。またお読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例







: 注意(危険・警告を含む)を促す事項

: 決しておこなってはいけない禁止事項

: 必ずおこなっていただく強制事項




警告

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

<p style="text-align: center;">設置されるとき</p> <p> ・この機器は AC100V 専用です。それ以外の (AC200V, 船舶の直流電源など) では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>・この機器が水にぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。</p> <p>雨天・降雪時や海岸・水辺での使用はおやめください。</p> <p>・この機器の近くに水などの入った容器を置かないで下さい。こぼれたりすると、火災・感電の原因になります。</p>	<p> ・雷が鳴りだしたら、早めに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
<p style="text-align: center;">ご使用になるとき</p> <p> ・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。</p>	<p style="text-align: center;">使用中に異常が発生したとき</p> <p> ・断線・芯線の露出など、電源コードが傷んだら、弊社に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p> <p> ・万一、この機器を落したり、破損した場合は、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて弊社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p> <p> ・煙が出る、変なおいや音がするなどの異常がみとめられた時はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと弊社までご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>

注意

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

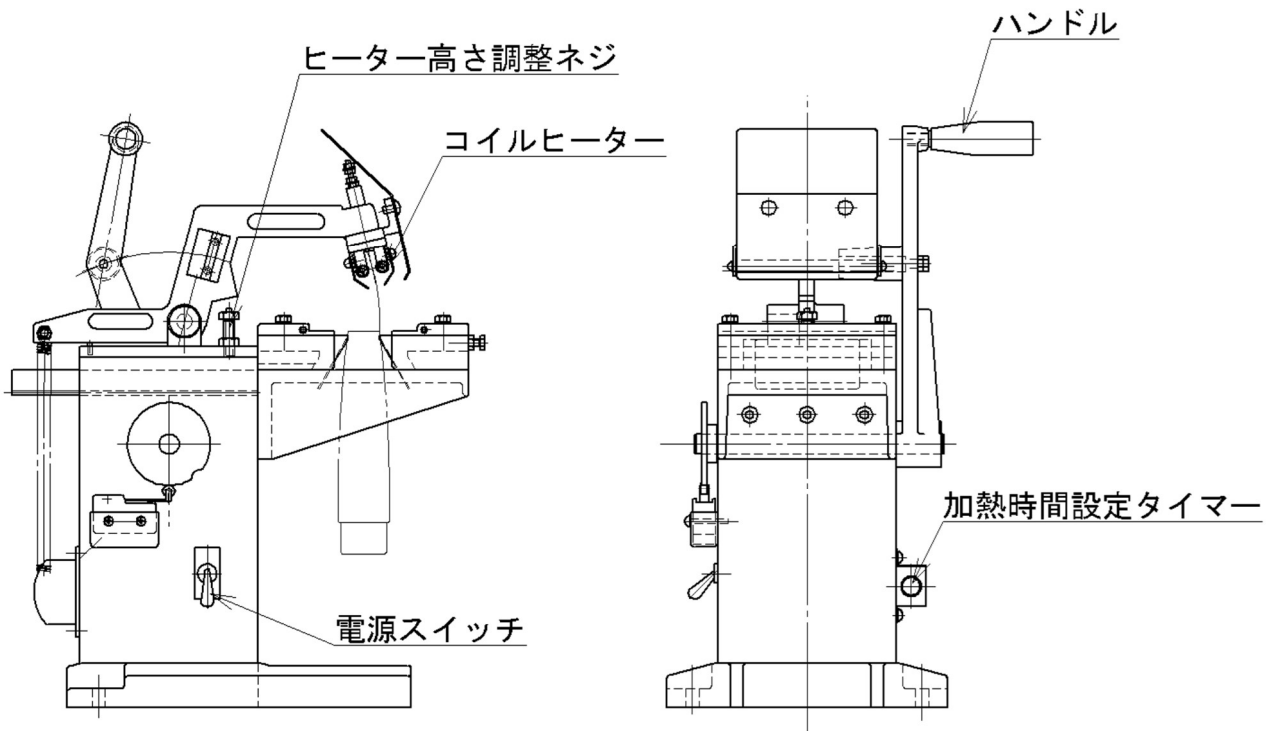
設置されるとき	 <ul style="list-style-type: none"> この機器を設置する場合は、引火を防ぐために壁や他の機器との間に隙間をとってください。隙間が不十分だと火傷や火事の原因となることがあります。
 <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。必ずプラグを持ってください。コードを引っ張ると、電源コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 	お手入れについて
	 <ul style="list-style-type: none"> この機器のヒーター部分は使用時に高熱となります。ご使用前にヒーター部分にゴミやほこりが付着している場合は、エアブローやブラシで払い落としてください。

はじめに

このたびは WS-01 ハンド式ポリチューブシーラーをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。WS-01 の機能を十分発揮させるとともに、末永くご愛用いただきために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

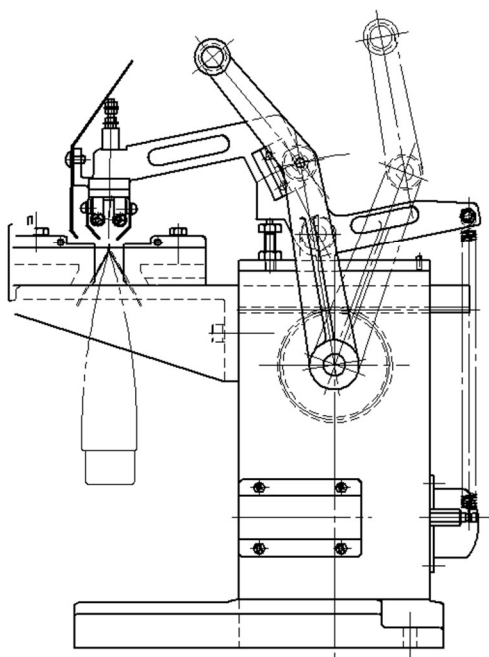
特徴	目次	
<ul style="list-style-type: none"> ・W ヒーターによる強力な溶解能力を持ち電熱シーラーでは溶かせないポリチューブを短時間でシーリングすることが出来ます。 ・シール時間をお知らせするタイマーが付属します。これにより手動シーラーでも同様のシール状態に近づけることが出来ます。 ・ヒーターカバー、ハンドルカバーなど、使用時の火傷を防ぐ仕様となっております。 ・シーリングという機能に絞り込むことで構造を単純化し、直感的にご利用頂けます。同時に故障しづらく、故障しても短時間で復旧出来る構造となっております。 ・シール板部に冷却用の穴が標準で空いています。連続で長時間ご利用になる場合は、M5 ネジ付きのカブラを接続し、空気や水を通すことでシール板の膨張を防ぐことが出来ます。 	<ul style="list-style-type: none"> はじめに P.3 特徴 P.3 各部名称 P.4 作業手順 P.5 調整方法 P.6 ヒーター交換方法 P.7 故障かな？と思ったら P.8 仕様 P.9 サービスについて P.10 	

各部名称

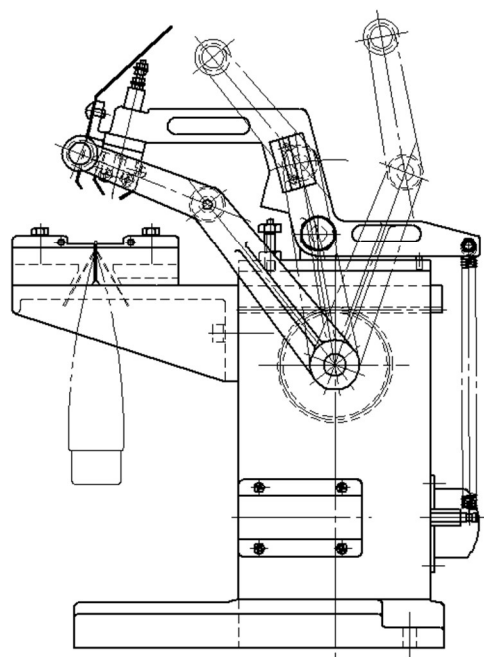
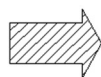


作業手順

- 1.電源コードをコンセントに差し込んでください。
- 2.電源スイッチを ON にして、コイルヒーターがオレンジ色になるまで待機してください。
- 3.チューブのカラーバーがセンターに来るようセットし、ハンドルを手前にゆっくり引いてください。
チューブは落ちない程度に保持してください。
保持に力を入れすぎますと、チューブが斜めにシールされる原因となります。
- 4.そのまま図①加熱溶解の状態を保持してください。
(挟み込んだチューブは密着し、その上にヒーターが下降してシール部への加熱が開始されます)
- 5.ブザーが鳴りましたら、ハンドルを更に手前に引いて
図②シールの状態で圧着保持してください。
- 6.数秒保持しましたら再度チューブを持ち、ハンドルを最初の位置へ戻してください。
以上で、シールは完了です。



①加熱溶解



②シール

調整方法

① ブザータイマー調整方法

仕様工具:なし

チューブが溶けすぎている場合は、ブザーの時間を短く。

チューブが溶けきっていない場合は、ブザーの時間を長く調整してください。

加熱時間設定タイマーのダイヤルを回すことでブザーの時間を 0～30 秒に設定出来ます。

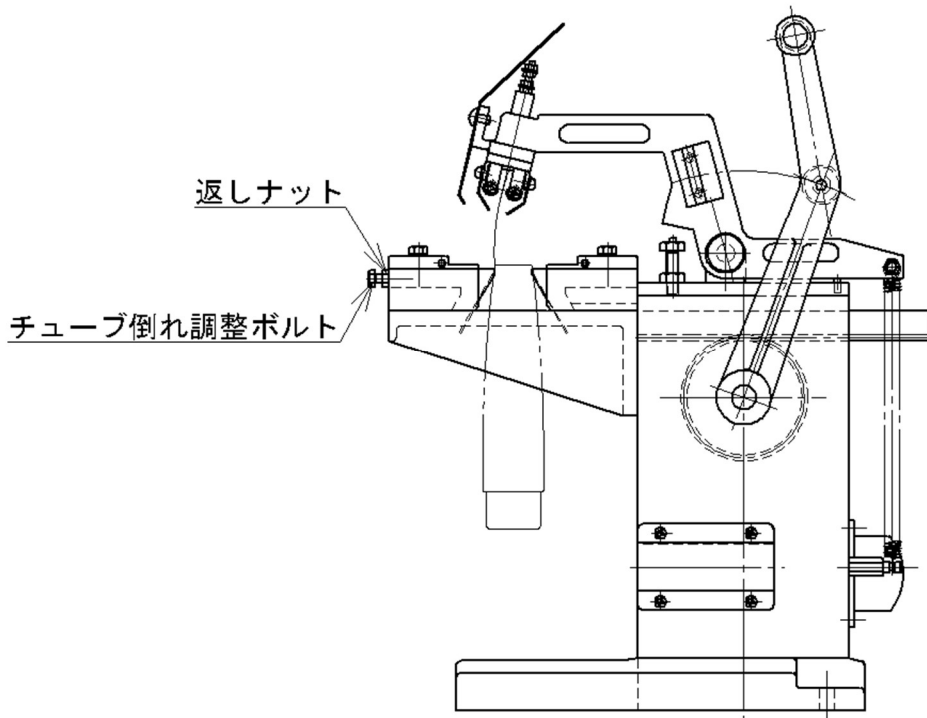
② シール部の倒れ調整方法

仕様工具:六角スパナ 2本

シール部がどちらかに倒れている場合は、下図の返しナットを緩めて

チューブ倒れ調整ボルトを回して調整してください。

調整後、返しナットを締めて調整ボルトを固定してください。



ヒーター交換方法

ヒーターが断線したり、破損した場合は下記手順にて交換を行ってください。

予備ヒーターがお手元がない場合は弊社までご連絡をお願い致します。

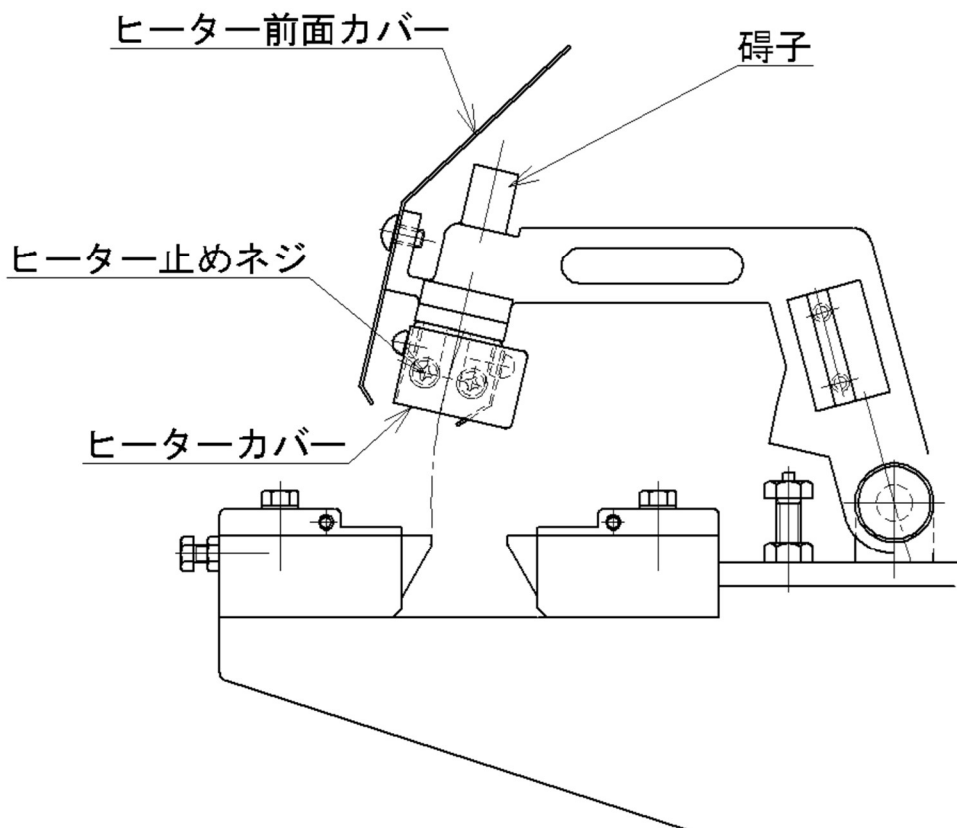
仕様工具：プラスドライバー、六角スパナ

- ① 電源プラグをコンセントから外してください。
ヒーターが熱い場合は、冷めるまで待ってから作業を進めてください。
- ② ヒーター前面カバーを外してください。
- ③ 該当ヒーターと碍子が繋がっている Y 型端子の位置を控えたのち
ナットを緩め、該当の Y 型端子のみを外します。
- ④ ヒーターカバーを外してください。
- ⑤ ヒーター止めネジを緩めて、ヒーターを交換してください。
- ⑥ 逆の手順にて状態を戻してください。

※新しいヒーターは、使用時に煙が出る場合がございますが故障ではございません。

すぐに収まりますので、そのままご使用ください。

煙が収まらない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて弊社までご連絡ください。



故障かな？と思ったら

この機器で考えられる異常動作の症状と原因、およびそれらの対処方法は次の通りです。

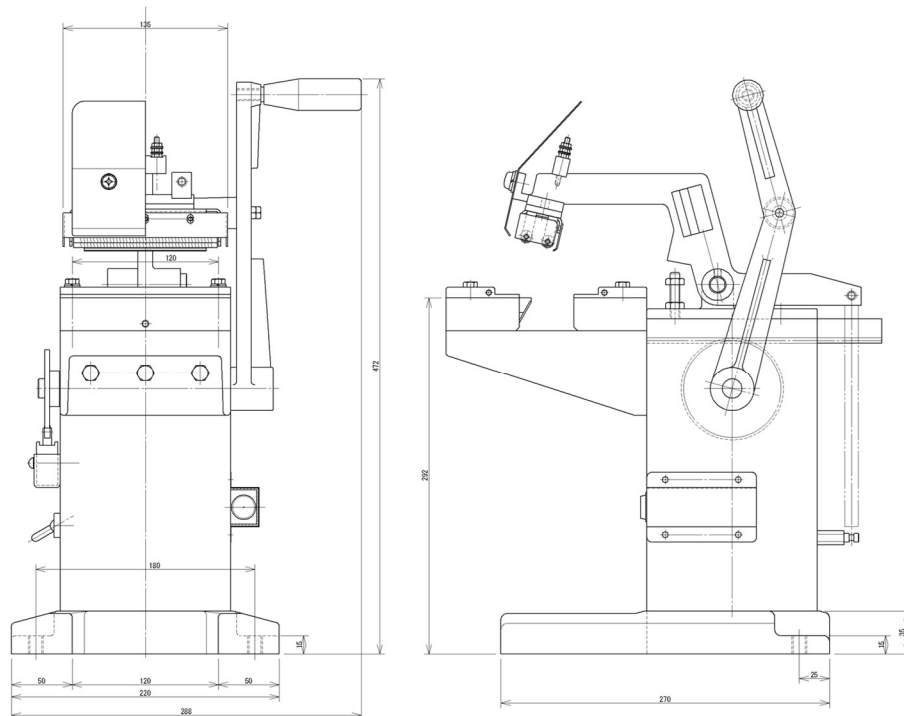
症状	原因	処置
ブレーカーが落ちた	ヒーターの芯線が何れかに触れ、ショートしています。	電源プラグをコンセントから外し、ヒーターが冷めるのを待ってから、ヒーターの芯線が何れかに触れていないか確認して下さい。該当の箇所が確認出来たら、芯線が触れ合わないよう線をほぐすか新しいヒーターに交換して下さい。
煙が発生する	新しいヒーターに交換した際、少しの間だけ煙が出る場合があります。	故障ではありません。少しまって煙が収まらないようであれば電源プラグをコンセントから外して、弊社までご連絡下さい。
シールの厚みが左右で異なる	シール板がずれています。	シール板を固定する六角ボルトを緩め、シール板が閉じた状態が水平となるよう、調整を行ってください。
シールの厚みがバラバラになってしまう	長時間使用していると、シール板が熱で膨張する為です。	長時間ご利用頂く場合、シール板の膨張を防ぐ必要があります。シール板の左右にM5 タップ穴が開いておりますので、金属製のカプラやタケノコ継手を取り付けてシール板にエアーや水を流して冷却しながら使用して下さい。
レバーが途中で止まらない	レバー中ほどの掛け止めピンが緩んでいます。	レバー中ほどの返しナットを緩め、掛け止めピンを少し前に出すようナットを回しながら調整してください。掛け止めピンの場所が決まりましたら、返しナットを締めてください。
ショートした後、電源が入らない	ブレーカー、ヒーターの配線誤り、スナップスイッチの溶断、もしくはタイマーコイルの焼け	ブレーカーが落ちていないか確認して下さい。ヒーターの配線を確認して下さい。配線に誤りがない場合はスナップスイッチの溶断かタイマーコイル焼けです。修理となりますので、御連絡後に弊社まで製品をお送り下さい。

仕 様

■一般仕様

シール能力	6~7本(チューブ及び使用者により異なります)
シール幅	3mmを基準としてオプションで5mmまで可能
シール斜線	P=2mm 30° 傾斜
クランプトルク	手動
ヒーター	100V 300W 2本
溶解方法	ポビンヒーター2本によるチューブ側面溶解
溶解時間設定	0~30秒 可変タイマー ブザー連絡
チューブガイド	仮クランプ部 下に設置
最大チューブ長	キャップを含めて 245mm
最大チューブ外径	最大φ50mm
電 源	100V AC50/60Hz
消費電力	600W
最大外径寸法(W×H×D)	288×472×270mm
重 量	17kg
付属品	予備ヒーター、滑り止めゴム、取扱説明書

■概略図



サービスについて

■ 損害に対する責任

この商品の使用または使用不能により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。

また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

■ 調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、弊社ご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理の詳細に関しましては、症状を確認させて頂いた上で判断させていただきます。

● お問合せ先

秋元産機株式会社

Tel: 03-5671-1961 Fax: 03-5671-1962 (電話受付=祝祭日を除く月～金 / 9:00～18:00)

Email: info@akimotosanki.co.jp